

令和2年度第1回都市機能の整った快適なまち推進懇話会概要

日 時 令和2年7月17日(水)

午後2時～4時

場 所 逗子市役所5階第4会議室

・議題

- (1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの策定について
- (2) 今後の業務予定について
- (3) その他

・出席者

長坂メンバー、堀川メンバー、佐藤メンバー(座長)、武藤メンバー(副座長)

石井メンバー、仁科メンバー、雲林メンバー、須田メンバー

・欠席者

島崎メンバー、松井メンバー

・事務局

芳垣環境都市部担当部長、須田環境都市部次長、津田都市整備課副主幹

香山都市整備課副主幹、津金都市整備課主事

・傍聴者 0名

・記録者 津金主事

1. 開会

事務局より、第1回都市機能の整った快適なまち推進懇話会の開催を宣言した。

2. 挨拶

開催にあたり芳垣担当部長より挨拶があった。

3. メンバー紹介

出席メンバー及び事務局の自己紹介を行った。

4. 都市機能の整った快適なまち推進懇話会について

事務局より、配布資料（資料1～2）に基づき、本懇話会の趣旨及び役割について説明を行った。

5. 座長、副座長の選出について

座長を社会空間研究所 佐藤メンバー、副座長を沼間住民協 武藤メンバーとした。

以下、座長により会議進行した。

6. 議題

(1) 都市機能の整った快適なまち推進プランの策定について

事務局より配布資料（資料3～4）に基づき、説明を行った。

（質疑応答・意見）

【石井メンバー】リーディング事業に関して、JR東逗子駅前の利活用についてはリーディング事業という感じがするが、市営住宅整備事業は受益者も限られている。快適な都市空間ということであると、下水道施設の問題、公共施設の防災や公共施設の需要の変化や再配置のほうが重要だと思われる。優先順位がなぜこのようになっているのか。

【事務局】リーディング事業の2つは、総合計画に位置づけられており、市として進めなければいけない事業がこの2つとして考えられていたものであり、現時点では変え

られない。今後、総合計画の改定時には検討したい。

【長坂メンバー】重点事業の中に下水道事業があるが、周辺の施設も含めて、公共施設の統廃合は緊急性があり、プランの重点事業になるのではないか。

【事務局】公共施設の統廃合は大きな課題であるが、公共施設の統廃合や長寿命化の具体的な取組は逗子市公共施設等総合管理計画に位置づけられた個別施設計画で行い、進行管理は逗子市行財政改革推進本部で行うとしている。しかし、快適なまちの大きな要素として、下水道施設は重要な位置づけであり、本計画の中でも総合管理計画と連動して管理を進めていきたいと考えている。

【武藤副座長】今の案は、それぞれの個別の計画に位置づけられていても、優先的に実現する可能性があるというような説明を住民協に戻ってできればいいと思う。また、都市機能の整った快適なまちというのは、あまりにも広過ぎてわかりづらいので、ポイントを絞ってほしい。

【事務局】資料4の7ページの柱4本や8ページから11ページのアクション、そこから重点的に行うとした15ページの重点事業に関して、事務局で都市機能の整った快適なまちを推進するために必要だと感じたものを入れたので、その部分について意見をいただきたい。

【佐藤座長】今後2年でやることということで、資料4の8ページから11ページで示しているが、なぜその中で重点事業が下水道と狭あい道路だけなのか。

【事務局】資料4の7ページにある取組はどれも大事であるが、今まで事業を順調に進めているものが多い中で、なかなかうまく進まない、課題として取り上げていかないと達成できないような事業として、この2つを選んでいる。

【須田メンバー】高齢福祉の施策については、福祉の計画もあるが、この計画にも載せてもよいのではないか。

【佐藤座長】様々な関連計画があるので、このプランと関連計画との関係や位置付けをわかりやすく示す必要があり、事務局で検討してもらいたい。

【石井メンバー】東逗子駅前の利活用はすごく重要だと思う。さらに、逗子駅周辺も再編の時期に来ていると思う。逗子全体として考えたら、逗子駅は、どういう形で周りの施設を配置していくかということは重要だと思う。

【佐藤座長】 駅周辺の再開発ということもあるが、既存の駅の充実という視点も踏まえて考えてもらいたい。

【長坂メンバー】 事業を行う上で、財政値を入れたほうがいいのか。

【仁科メンバー】 総合計画では、リーディング事業を行うにあたっての財政的な見通しは立ててはいるが、個別の計画の中で財政見通しまで入れるのはなかなか難しいと思われる。

【佐藤座長】 費用対効果という観点も非常に重要なことというふうに思うが、その効果のあり方がみんなが笑顔になるとか住みやすいまちになるとか、そういった視点でもいいのか。

【石井メンバー】 資料4の7ページの4つの柱の中で、公共交通のバリアフリー化とあり重要なテーマだと思うが、交通アクセス、すなわち高齢化が進んで運転ができなくなった際に、バス、公共機関、タクシーを含めた交通アクセスをどうやって活用するかというのは、快適な都市空間の中で非常に重要だと思うので、追加してもらいたい。

【事務局】 逗子では研究を進めている状況であり、重要な視点だと思うので、反映できるか検討する。

【仁科メンバー】 公共交通アクセスについては、逗子市総合計画の第4節 歩行者と自転車を優先するまちという計画の中に既に含まれている内容でもある。

【武藤副座長】 この意見は市内部では別の計画で位置付けているということだが、できたら再掲という形で、ここでも位置づけられたら、スピードアップすると思われるのでいいのでは。

【仁科メンバー】 リーディング事業については重複しないというルールは作っているが、それ以外の事業については、同じ事業であっても別の観点から進めていくというのは当然あるかと思う。

【佐藤座長】 資料4の9ページ、道路環境の改善の部分で、市内の交通改善とあるが、例えば、高齢化が進む中でかつては自力で移動していた人たちが、公共交通に頼らざるを得なくなる状況を踏まえて、交通環境の改善をするといった、きめ細かい記載を追加してもいいのでは。

【事務局】 渋滞対策は、都市機能にあてはまり、なぜ渋滞するかというと、車が多いためなので、公共交通などの交通アクセスの充実については、一つの視点として検討する。

【石井メンバー】 子育てでは、学童保育、子どもを預かる施設が足りない。社会のありようが変わって、保育施設のほうは追いついてきたのかもしれないが、そこで、育った後に、子どもを預かるというのも都市機能の一つだと思う。

【仁科メンバー】 学童保育の関係であると、メインは子供子育ての計画だが、整備の部分というのは、こちらの計画にも関係してくることがあれば、必要であれば位置づけるというのはあると思う。

【雲林メンバー】 障がい福祉課では、障がい者福祉計画という計画を今年度に策定、更新する予定であり、市民に無作為抽出でアンケート調査を行い、色々な質問に答えてもらったが、そのアンケートの質問で、災害の際に避難路や避難施設のバリアフリー化というのも重要に捉えている方が多く、逗子は高齢化が進んでいるので、災害時にも避難しやすいという意味でも、市道のバリアフリー化というのは、重要なことだと思われる。

【佐藤座長】 市道のバリアフリー化というのは取組の方向にも書いてあるが、どこに重点を置くことを考えることは重要であると思われる。

【武藤副座長】 住民協から推薦で来ているので、住民協で報告すると同時に意見を求められるので、できれば住民協での説明も検討してもらいたい。また、沼間では身の回りの崖崩れの注意箇所がないかという調査をしており、崖崩れの問題はどうか。ただ、市だけで解決できないので、なかなか入れづらいと思われる。さらに、県道 24 号線の渋滞の緩和というのも、取組みをしており、これも根本的には県道なので難しいとは思いますが、公共交通については、ほかのメンバーからも意見が出たのでいいと思われる。これからも市では解決できないような、色々な意見が出てくるかと思う。

【事務局】 住民協から推薦をいただいたメンバーの方がいるので、どこかのタイミングで、代表者会議等で報告をすることも考えている。パブリックコメントの段階で行うのがいいと思うが、検討する。

(2) 都市機能の整った快適なまち推進プランの策定スケジュールについて

事務局より配布資料（資料5）に基づき、説明を行った。

（質疑応答・意見）

【佐藤座長】最終的な成果というのは、冊子やパンフレットなどどのようなものを想定しているのか。市内に配ったりもするのか。

【事務局】最終的には冊子にし、ホームページ上で掲載をする。冊子以外に、パンフレットのようなものを配ることも検討して、なるべく周知を図れるように考えていく。

(3) その他

（質疑応答・意見）

【石井メンバー】プランは企画と一緒に作るのか。

【事務局】関係各課に意見照会はあるが、最終的には都市整備課が取りまとめる。

【佐藤座長】本日欠席の方はどのように意見聴取するか。

【事務局】本日の席上配布の資料も含め、会議の概要を送る。